

# J A C S

## NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第15巻第3号

発行日● 2007年11月15日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

### 第35回 消費者行動研究コンファレンスの概要

#### <統一論題>

### 実験経済学との接点を探る

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内致します。第1日目には、自由論題研究報告、JACS-SPSS論文プロポーザル賞報告、会員総会、懇親会を予定しています。第2日目には、自由論題、ワークショップセッション、招待講演を予定しています。

会場：九州産業大学(福岡市東区)

研究会参加費：4,000円 [学生：¥2,000] ※非会員の学生は、会場受付にて学生証の提示が必要になります。

懇親会参加費：5,000円 [12月15日(土) 18:00より開催予定]

お弁当代：1,000円 [12月16日(日) 分のみ]

※当日は学内の食堂が休みで会場周辺でも昼食をとれる店が限られているためできるだけお弁当をお申し込み下さい。

参加申込：JACS Web サイト(<http://www.jacs.gr.jp/>)、ハガキ、FAX で受け付けております。  
(会員以外で参加をご希望の方は、最終頁の申込書に氏名・連絡先等を明記の上、事務局宛に郵便、FAX または Eメールにてご連絡ください)

参加申込締切：12月7日(金)必着

#### [第1日目]

9:30 - 受付  
9:55 - 10:00 開会の辞  
10:00 - 11:45 自由論題研究報告  
11:45 - 13:15 昼食休憩 (役員会)  
13:15 - 16:10 JACS-SPSS 論文プロポーザル賞報告  
16:20 - 18:00 会員総会  
18:00 - 20:00 懇親会

#### [第2日目]

9:30 - 受付  
10:00 - 12:00 自由論題・WS研究報告  
12:00 - 13:30 昼食休憩  
13:30 - 15:20 招待講演  
15:20 - 15:30 閉会の辞

## 統一論題

### ～実験経済学との接点を探る～

秋山 学(神戸学院大学)

消費者行動を研究するものにとって、2002年にDaniel Kahneman氏がノーベル経済学賞を受賞したことは記憶に新しいことと思います。この受賞は、実験経済学者として高名なVernon L. Smith氏と共にでした。これは、従来「実験」を行わない科学と考えられてきた経済学においても、実験研究の有用性が広く認知されたことを意味します。消費者行動研究学会に所属する皆様にとっては、それぞれの研究手法として実験を用いるかどうかは別にして、消費者行動研究において実験研究の有用性は自明であろうと思います。これは、消費者行動研究は行動経済学あるいは実験経済学と共通の基盤に立ち、双方の研究者によるコラボレーションが可能であることを示唆しています。実際に、消費者行動研究においても用いられる情報モニタリング法を用い、連続した交渉ゲームにおける情報探索行動を検討した研究がJournal of Economic Theoryに掲載されています(Johnson, Camerer, & Sen, 2002)。しかしながら、このような研究例はまだ希であり、今後、環境配慮行動との関連や、前回のコンファレンス統一論題であった企業と消費者のコミュニケーションなどのテーマにおいて、実験・行動経済学と消費者行動研究とが連携する可能性が広がっていくものと思われま

す。そこで、今回のコンファレンスでは、実験経済学の現状を知り、消費者行動研究との接点を探るため、Experimental Economicsなどの国際的学術誌の編集者を務められるなど実験経済学の第一線でご活躍されている西條辰義氏(大阪大学社会経済研究所教授)による招待講演(演題:「日本人はいじわるがお好き?」)を予定しております。西條氏は「社会科学の実験アプローチ」、「実験経済学への招待」などの編者も務められるとともに、日本経済新聞の「やさしい経済学-実験で解く:経済行動と感情」の連載も担当され、他領域の研究者との交流にも積極的に取り組んでおられます。招待講演に対する議論が活発なものとなるよう、指定討論を数名のJACSのメンバーへお願いする予定であり、フロアからも活発な質問や意見、コメントがなされることを期待しております。

なお、今回の統一論題も従来の形式とは異なり招待講演のみとなります。昨年秋より、自由論題中心のプログラム編成としておりますが、徐々に定着しつつあるように感じます。今回も自由論題へ25件の発表申し込みがあり、多数の会員から発表いただく予定です。自由論題の発表内容より会員の皆様の関心事も伺え、学会運営を考える貴重な資料となりつつあるようにも感じます。今後とも皆様方の貴重な研究成果をJACSにて発表頂けますようお願いする次第です。また、今回のコンファレンス開催においては、平野英一氏(九州産業大学)や、新倉貴士氏(関西学院大学)、竹村和久氏(早稲田大学)、大川玲子氏(SPSS)をはじめとする関係者の皆様より多大なご支援をいただきました。記してお礼申し上げます。

最後になりましたが、師走の気ぜわしいなかではありますが、福岡、九州産業大学へ多くの皆様にご参集くださり、研究と交流がいつそう進みますことを心より願っております。

## My Consumption 「アイロンと消費者行動」

太宰 潮(学習院大学大学院)

突然だが、私は知る人ぞ知る恐妻家である。私が被扶養家族ということもあるが、妻はまさに我が家のトップに君臨している。我が家に残る伝説は数多くあるが、一部研究者には、『今の太宰は飛んでくるアイロンを箸で掴める』とさえ言われている。

さて、そんな妻の一番嫌いなことは、私が深酒などをして遅くに帰宅すること、また家族で過ごすべき休日に予定を入れ過ぎることである。子供ができてからは特にその閾値が厳しくなったようにも感じられるこの頃である。この間も、久しぶりに会った同級生との飲み会で、かつては終電近くまで行くところを、22時過ぎで失礼してきた。

深酒するかどうかは別にして、日本人、特に都会に住む人は家庭に注ぐ時間が少ないのではと思っている。残業が多い、共働き、同僚・仕事上の飲みが多い、休日に自分自身のリフレッシュをしないとやっていけない、等々いろいろな理由があろうと思う。最近大学院で行った、食品についての消費者調査では、「お父さんが食事の場にいることが大事」という結果が得られたりした。私も社会人時代には、要領の悪さからそれなりの残業を経験したので人のことは言えないのだが、そうした家庭・生活・社会環境から消費者行動を考えるのも大切な研究の視点である。近年ソーシャル・マーケティングや CSR などの枠組みでも議論がなされているが、社会全体の最適や次世代のことまで考えた活動に、マーケティング・消費者行動がどんどん関係してゆく時代になるのだろうか。

個人的には、お父さんの仕事環境を改善し、お父さんがいろんな生活シーンに参加することが、消費者・生活者行動的にも、ひいては他の医療などの面(生活習慣病等)にも大きな影響を与えるのではないかなあと思っている。そう、何も私は妻が怖くて飲み会などの場を減らしているのではなく、このような消費者行動的・社会的視点に基づいて、積極的に早帰りをしているのである(苦笑)。

カミングアウトはこれくらいにしておくとして、消費者行動を含むマーケティングという分野は、身近な実生活に深く関われる分野のひとつかと思う。しかし、生活課題の解決や生活の質の向上を実現するには、1企業の活動の枠を出ないと実践は困難と思われる。医療の世界では医療連携というテーマがあるし、近年よく語られる食育でも、色々な連携が重要であるとされる。近頃読んだ本によれば、今まで繋がっていなかった要素が繋がることで、全体的な変化や“創発”が起こるそうである。消費者行動の定義自体に既に組み込まれているが、他の学問分野、また複数の業界・様々な組織と繋がって、今の社会問題・生活課題を解決するような動きが出てくるとよいなあと、アイロンをかわしながら思う次第である。

ちなみに、私の妻はJACSの会員である。会員リストを探していただいても構わないが、苗字は太宰ではないので、見つけることは困難だろう。

◆筆者プロフィール◆ 氏名：太宰 潮(だざい うしお)  
研究テーマ：価格を中心に幅広く  
趣味：バスケットボール、子育て、家事  
一言：博士後期3年です。これから面白い研究者になれるよう、頑張ります！

バトンタッチ元は千葉商科大学の須永 努先生で、バトンタッチ先は学習院大学の宮澤 薫先生になります！

<事務局より一言>

このコラムは、会員の皆様の間でのコミュニケーションをより円滑にするためのものです。今回のリレーも「関東地区」のようですね。まずは身近な友ですね！お若い研究者を中心に、全国のJACSメンバーで「研究者の輪(和)」をどんどん広げていきましょう！

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

「銀行振り込み」の際に、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振り込み」の際には、必ず「個人名」から記入するよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

ご所属やご住所が変更する際は、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。お電話、FAX、Eメールのいずれかでご連絡下さい。

**新入会員の募集について**

本学会への入会を希望される方は、下記の該当項目に☑をし、FAX もしくは郵便にて事務局宛に送付いただくか、ご希望の項目を明記の上、e-mail にてご連絡ください。折返し、入会申込書等をお送りいたします。

**●入会資格****[学術会員]**

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)、およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等)。但し、学術会員2名の推薦が必要。

**[賛助会員]**

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**●年会費**

**[学術会員]** 10,000 円

(但し大学院生は 5,000 円に減免)

**[賛助会員]** 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

会員案内(入会申込書)の送付を希望します。(  学術会員  賛助会員 )

次回コンファレンスの参加を希望します。

お名前:	〒	ご所属機関:
住所:		
TEL:	FAX:	
e-mail:		

**●JACS 事務局のご案内●**

(事務局) 〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155  
 関西学院大学商学部 マーケティング研究室 (新倉貴士)  
 TEL: 0798-54-6444 FAX: 0798-51-0903 Email: tniikura@kwansei.ac.jp

(事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内)  
 TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>